

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3307		
科目名	スポーツマネジメント演習Ⅱ		
担当教員	原 怜来		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火2		
講義室	オンライン	単位区分	必,選
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関係 DP4-F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5-J〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクを取りながら、結果的に結びつけることができる。 ■CRコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンスルーブリック（CR）との関連 F1 探究と論拠（5%） F2 問題解決（10%） G1 状況把握（45%） I1 理解・分析と読解（20%） J2 創造的思考（20%）		
教員の実務経験	相撲指導者として、高校・大学・社会人選手を対象にスカウティング活動を行ってきました。本授業では、スカウティングの実態について、実務上の知見と経験を活かして、チームにおけるスカウティングの位置づけや導入による効果について講義します。（第2回・第3回・第4回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 完成期		
科目概要・キーワード	スポーツマネジメント演習Ⅰのスカウティング活動の帯同内容、とりわけ指導者、選手、保護者等との対応方法について反省的分析を加え、本学部所定のスカウティング活動報告書に記載し、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、スカウティング活動及び能力について考えることを目的としています。授業形式は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード スカウティング、競技力観察、反省的分析		
授業の趣旨	■副題 実際に、スカウティング活動を実施し、その内容をスカウティング活動報告書に記載し学び、実際のスポーツ実践現場から実態調査して見た課題について、その結果を反省的分析を通して改善を図ることで、スカウティング能力を向上させましょう。 ■目的 スポーツマネジメント演習Ⅱで学修した内容を基礎とし、競技スポーツを取り巻く環境や様々な要因にまで配慮することができるよう、スカウティング活動を円滑に行う能力を、身につけることを目的とします。 ■授業のポイント 実際の競技を「スカウティング」し、「スカウティング報告書」を作成し、行ってきた結果を各クラスで持ち寄り、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を通じて、スカウティング活動及び能力について考察することになります。る反省的議論を通じて、スカウティング活動及び能力について考察することになります。		
総合到達目標	■チーム編成及び運営を考える際に、極めて重要な位置づけを占めるスカウティング活動について、効果的な方法を実践できるようになるために、自身で実践し、スカウティングに必要な能力を修得する。 ・スカウティング活動の際に必要な能力を説明できる（第1回～第6回、第15回） ・スポーツの分類によるスカウティング活動の特性を説明できる（第2回～第6回） ・現状のチームの課題を列挙できる（第7回～第9回） ・現状のチームの課題に対して、測定・分析できる（第7回～第9回） ・スカウティング活動を行い、結果について自身の考えを述べるができる（第10回～第14回） ・スカウティング活動の結果について討議できる（第10回～第14回）		
成績評価方法	■スカウティング活動報告書、発表（55%）：適用ルーブリック F1・F2・G1 （評価の観点）スカウティング活動報告書の記載内容及び発表内容（ポスター資料も含む）で評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。 ■授業内のリアクションペーパー（15回）（45%）：適用ルーブリック I1・J2		

	(評価の観点) 授業内で実施する授業リアクションペーパーで、スカウティング活動を理解しているかで評価します。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ スポーツマネジメント演習Ⅱについて ②授業概要 授業の進め方や評価方法について確認する。スポーツマネジメント演習Ⅱの展開を概観する（F1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、内容をよく把握しておく。 ④復習（120分） スポーツマネジメント演習Ⅱの概要内容を整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
	2	①授業テーマ スカウティング活動（個人スポーツ） ②授業概要 個人スポーツについて、スカウティング活動の具体的な事例を紹介することで、スポーツマネジメント演習Ⅱにおけるスカウティングの意味と関心を育てる（I1・G1）。 担当教員の実務経験を踏まえて、スカウティングに関する能力等について講義します。 ③予習（120分） 個人スポーツ競技の様々な環境下でのスカウティング内容を調べ、確認しておく。 ④復習（120分） 個人スポーツのスカウティング活動についてまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
	3	①授業テーマ スカウティング活動（チームスポーツ） ②授業概要 チームスポーツについて、スカウティング活動の具体的な事例を紹介することで、スポーツマネジメント演習Ⅱにおけるスカウティングの意味と関心を育てる（I1・G1）。 担当教員の実務経験を踏まえて、スカウティングに関する能力等について講義します。 ③予習（120分） チームスポーツのスカウティング内容を調べ、確認しておく。 ④復習（120分） チームスポーツのスカウティング活動についてまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
	4	①授業テーマ スカウティング活動（対人スポーツ） ②授業概要 対人スポーツについて、スカウティング活動の具体的な事例を紹介することで、スポーツマネジメント演習Ⅱにおけるスカウティングの意味と関心を育てる（I1・G1）。 担当教員の実務経験を踏まえて、スカウティングに関する能力等について講義します。 ③予習（120分） 対人スポーツのスカウティング内容を調べ、確認しておく。 ④復習（120分） 対人スポーツのスカウティング活動についてまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
	5	①授業テーマ スカウティングの実態につて（講義）① ②授業概要 スカウティング従事者を講師として、スカウティングの実態について講義を実施する。その講義からスカウティングの現状と課題について考え、講義の内容をリアクションペーパーにまとめる（I1・G1）。模範解答の説明を含め、スカウティングの方法について復習を行ないます。 ③予習（120分） スカウティングの実態について調べ、確認しておく。 ④復習（120分） 講義についてまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
	6	①授業テーマ スカウティングの実態につて（講義）② ②授業概要 スカウティング従事者を講師として、スカウティングの実態について講義を実施する。その講義からスカウティングの現状と課題について考え、講義の内容をリアクションペーパーにまとめる（I1・G1）。模範解答の説明を含め、スカウティングの方法について復習を行ないます。 ③予習（120分） スカウティングの実態について調べ、確認しておく。 ④復習（120分） 講義についてまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
	7	①授業テーマ スカウティング活動の準備 ②授業概要 スカウティング活動の実際に向け、具体的にどのように進めるか考え、スカウティング活動報告書への記載方法や内容についての注意点を説明することで、スカウティングの関心を育てる（J2・G1）。 ③予習（120分） スカウティング活動の準備について、スカウティング活動報告書への記載方法を調べ、確認しておく。 ④復習（120分） スカウティング活動の準備についてまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
	8	①授業テーマ スカウティング活動の実際① ②授業概要 各自で実際の競技スカウティングを体験して、本学部所定のスカウティング活動報告書を作成する。実際に体験した

		内容で自身のスカウティング活動の方向性を考える（J2・I1・G1）。 ③予習（120分） スカウティング活動の実際について、スカウティングの内容を調べ、確認しておく。 ④復習（120分） スカウティング活動報告書と体験した内容をまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
	9	①授業テーマ スカウティング活動の実際② ②授業概要 各自で実際の競技スカウティングを体験して、本学部所定のスカウティング活動報告書を作成する。実際に体験した内容で自身のスカウティング活動の方向性を考える（J2・I1・G1）。 ③予習（120分） スカウティング活動の実際について、スカウティングの内容を調べ、確認しておく。 ④復習（120分） スカウティング活動報告書と体験した内容をまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
	10	①授業テーマ スカウティング活動の実際③ ②授業概要 実際の競技スカウティングを体験して、本学部所定のスカウティング活動報告書を作成する。実際に体験した内容で自身のスカウティング活動の方向性を考える（J2・I1・G1）。 ③予習（120分） 次のスカウティング活動の実際について、スカウティングの内容を調べ、確認しておく。 ④復習（120分） スカウティング活動報告書と体験した内容をまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
	11	①授業テーマ スカウティング活動発表のための準備 ②授業概要 各自で実践してきたスカウティング活動について、クラスで持ち寄り共有する。互いに知識を深めてスカウティングに関する能力を身につける（I1・J2）。 ③予習（120分） 各自で実践したスカウティングの内容をまとめ、確認しておく。 ④復習（120分） 共有した知識を整理し、自身の考えを説明できるようにしておく。
	12	①授業テーマ スカウティングの発表① ②授業概要 これまで学習してきたスカウティングについて個人発表を行う。その発表について自身の発表と他者の発表の比較と評価を行うことで、さまざまなスカウディングの方法について考え、自身及び他者の内容をリアクションペーパーでまとめる（F2・G1）。模範解答の説明を含め、スカウディングの方法について復習を行ないます。 ③予習（120分） スカウティングの個人発表に向け練習し、確認しておく。 ④復習（120分） 自身の発表内容と他者の発表内容について、自身の考えをまとめて説明できるようにしておく。
	13	①授業テーマ スカウティングの発表② ②授業概要 これまで学習してきたスカウティングについて個人発表を行う。その発表について自身の発表と他者の発表の比較と評価を行うことで、さまざまなスカウディングの方法について考え、自身及び他者の内容をリアクションペーパーでまとめる（F2・G1）。模範解答の説明を含め、スカウディングの方法について復習を行ないます。 ③予習（120分） スカウティングの個人発表に向け練習し、確認しておく。 ④復習（120分） 自身の発表内容と他者の発表内容について、自身の考えをまとめて説明できるようにしておく。
	14	①授業テーマ スカウティングの発表③ ②授業概要 これまで学習してきたスカウティングについて個人発表を行う。その発表について自身の発表と他者の発表の比較と評価を行うことで、さまざまなスカウディングの方法について考え、自身及び他者の内容をリアクションペーパーでまとめる（F2・G1）。模範解答の説明を含め、スカウディングの方法について復習を行ないます。 ③予習（120分） スカウティングの個人発表に向け練習し、確認しておく。 ④復習（120分） 自身の発表内容と他者の発表内容について、自身の考えをまとめて説明できるようにしておく。
	15	①授業テーマ スポーツマネジメント演習Ⅱのまとめ ②授業概要 これまでのスポーツマネジメント演習Ⅰの内容と併せて学習したことを総括し、競技スポーツにおけるスカウティングの内容を、リアクションペーパーにまとめる（F2・G1）。模範解答の説明を含め、スカウディング活動の復習を行ないます。 ③予習（120分） 総括し整理されたスカウティング内容に基づいて、問題点及び優れている点や今後の学習方針に繋げられるよう確認しておく。 ④復習（120分） 総括し整理された内容を振り返り、スカウティング能力の向上についてまとめ、自身の考えを説明できるようにしておく。
関連科目		「スポーツマネジメント演習Ⅰ SSCS3306」（3年次開講科目）は、本講と密接に関係します。
教科書		指定しません。

参考書・参考URL	授業時に案内します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜日2時限（研究室）。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	

